

大学名：山形大学、東北公益文化大学、山形県、山形県国際交流人材育成推進協議会

山形大学、東北公益文化大学、山形県、地方自治体、企業などで構成するコンソーシアムが一体となり、日本国内への就職をアシストする実践的な取り組みを行うことにより、地方大学に在籍する留学生が県内はもとより日本国内企業へより多く就職できる持続可能な就職支援モデルとして「山形モデル」を構築する。留学生に対しては、インターンシップによる動機付けや日本企業に就職するために必要となる語学教育、日本国内に就職するために必要なビジネスマナーなどのキャリア教育を実施するとともに、企業の実務担当者にも実践的教育の一部を担ってもらうことで、大学や留学生(労働者)と企業(雇用者)の間のギャップ(意識の違い)を埋める。

山形県と県内大学の課題



**【山形県】**  
人口減少対策、ものづくり産業の活性化、観光促進、農業の活性化

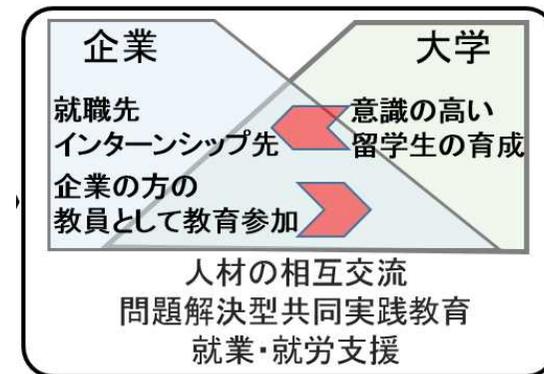
**【県内の大学】**  
留学生数の拡大とグローバル化教育の強化

山形県に内在する課題の解決

- インターンシップ先企業を40社程度に開拓・拡大
- 就職希望者の日本企業への就職5割以上の達成
- N1取得を目指した日本語教育の構築と高いN1合格率の達成

大学・大学院で学んだ高度な語学力と専門性を有する留学生を地域に定着せさせることで、山形県（東北地方）のグローバル化を図り、地域全体の国際化を支援

理工学研究科ものづくり技術経営学専攻とうほくMITRAIコースと工学部国際交流センターの留学生教育の実績を基にして、  
**新たな留学生就職支援「山形モデル」の構築**



【4つの取り組み内容の柱】

- ① 留学生の日本企業就職力向上の取り組み
- ② 留学生の受入体制の構築
- ③ 大学における留学生支援システムの開発
- ④ 企業に対する支援体制